

特集 詐欺を防ぐ

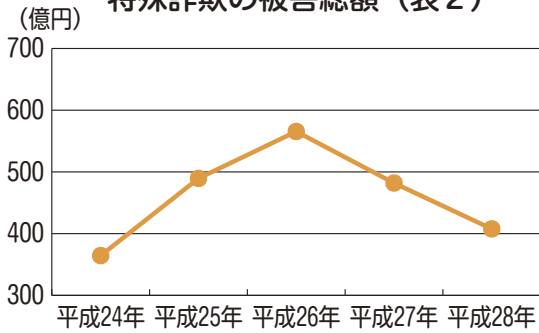
**65歳以上の方は
注意が必要**

特

特殊詐欺とは、振り込め詐欺と振り込め詐欺に類似する手口の詐欺の総称で、主に、電話を使って面識のない人にうそをつき、現金を郵便や宅配便で送らせたり、指定口座に振り込みをさせたりして、お金をだまし取る詐欺のことです。

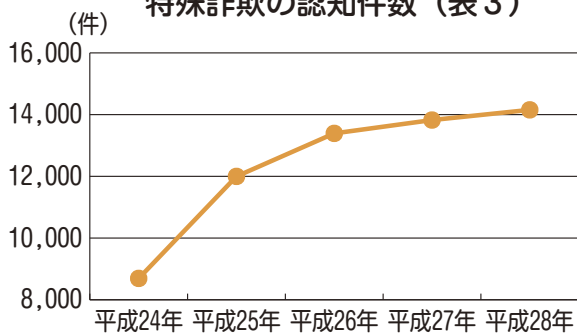
特殊詐欺における平成28年の全国の被害総額は約407・7億円で、認知件数（未遂を含む）は1万4千154件となりました。これは、一日当たり38人以上の方が狙われた計算になります。

特殊詐欺の被害総額（表2）



※引用元：警察庁のウェブサイト

特殊詐欺の認知件数（表3）



※引用元：警察庁のウェブサイト

詐欺師はだますための練習をしています

被害総額は、2年連続で減少していますが、依然として高い水準にあり、認知件数（未遂を含む）は、増加傾向です（表2・表3）。さらに、警察庁の発表によると、平成29年上半年期における特殊詐欺の被害者の内訳は、**65歳以上の高齢者が71・9割（暫定値）**となっており、高齢者が被害に遭いやすい傾向にあることを示しています。

緊

急性を装ったり、もっともらしいことを話されたりすると、しっかりとっている人でも、いざというときに正常な判断ができなくなるため、詐欺被害は後を絶ちません。お金の話になったときは、すぐに決断せず、家族や周りの親しい人、警察、市役所などへ相談することが大切です。



ここ数年、特殊詐欺の認知件数は上昇しているばかりか、警察官の役やお金を受け取る役など、複数の人物が登場する『劇場型』といわれる手法が用いられ、詐欺の手口が巧妙になっています。

さまざまな手口が使われてもだまされないようにするためには、家族や地域との普段からのコミュニケーションが大切であり、お互いに近況を話し合うことで、電話での『何か変：』に気づくことができるかもしれません。

不安をあまり心理的に追い詰める特殊詐欺

事故に遭った

風邪ひいて
声が変わった

電話番号が
変わった

財布を無くした

のどにポリープが
できた

かばんを
置き忘れた

次のページでは、詐欺の手口や対策について紹介します